

ギンヤンマ

がっしりとした体のやや大型のヤンマの仲間です。複眼(目玉)から翅胸にかけてきれいな黄緑色で、腹部2・3節の上側がオスでは水色になり、さらに下側が銀色になるのでこの名前があります。

主に水生植物が茂る池や沼、水路や河川、田んぼなど広範な水辺で見られます。

産卵はオスとメスが連結したまま行うことが多いですが、単独でも行います。普通は水面に浮かぶ水草などに、静止して産卵します。

富士市での現状

主に平地から低山地の池沼、ため池、田んぼ、水路などに見られます。

また、複数の小学校のプールからも、幼虫が見つかっています。



ギンヤンマを確認したメッシュ

